



平成 28 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 中央物産株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 児島 誠一郎
(コード番号 9852)
問合せ先責任者 取締役副社長 原 幸 男
(TEL 03-3796-5075)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました、平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想及び個別業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1 株 当 り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 136,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 720	円 銭 66. 90
実 績 (B)	140,686	1,203	1,207	1,045	97. 14
増 減 額 (B-A)	4,686	3	7	325	—
増 減 率 (%)	3.5	0.3	0.7	45.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	130,190	△428	△413	△1,655	△150. 72

(2) 個別業績

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株 当 り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 114,000	百万円 600	百万円 360	円 銭 33. 45
実 績 (B)	116,371	282	438	40. 74
増 減 額 (B-A)	2,371	△317	78	—
増 減 率 (%)	2.1	△52.8	21.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	108,375	△550	△1,703	△155. 10

2. 差異の理由

連結業績は子会社の収益が好調に推移したことにより、売上高・営業利益・経常利益は概ね予想通りの結果となっております。当期純利益は、税効果会計により税金費用が減少したことにより予想を上回る結果となりました。

個別業績は、マーケティング&セールス活動により売上高は予想を上回って伸ばいたしましたが、車両費や雇用環境の改善に伴う賃金増などによって物流コストが増加し、併せて売上割戻金の増加に伴う売上総利益率の低下などにより、経常利益は当初の予想を下回る結果となりましたが、当期純利益は連結同様に税効果会計により、税金費用が減少したことにより予想を上回る結果となりました。

以 上